



福祉の基盤を守る行革

高齢者の福祉財源は税に依存してる部分が大です。故に税金の使い方と、その「順序」はここ 20 年間（高齢者人口のピークが過ぎるまで）、慎重な配慮が必要です。建物の老朽化を理由に全部建て替えていたら、財源はオモテ面のように底を突き、高齢者福祉を直撃し、老後不安はますます増大します。（福祉全般も同じ）一方で、首都直下地震が想定される中、安全な公共施設は絶対に必要です。両立は簡単ではありませんが、なんとかその問題を知恵を出し合い解決するのが区長の仕事であり、またチェックするのが議会の役割です。

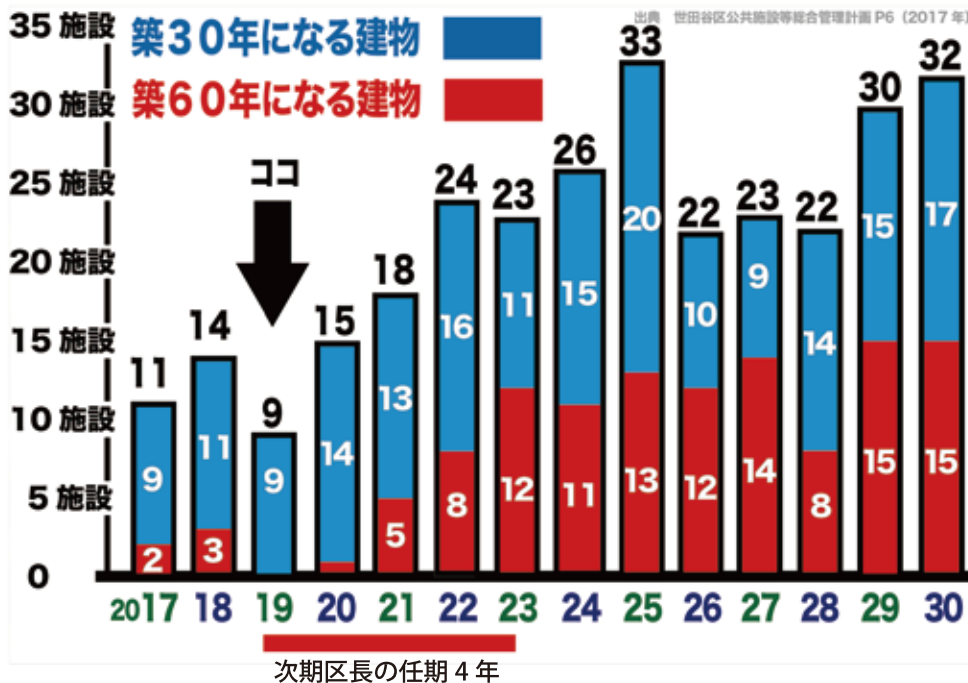
公共施設の「長寿命化」という保坂・魔法or魔薬？

■ところが、保坂区長は、この問題を公共施設の「長寿命化」（事実上のルール変更）で解決を図ろうとしています（建物の寿命を 60 年から 90 年にすること）■しかし、昭和 30 年代の建物は、現在のような震度 7 以上の地震が何度

も来ることを想定していません（当時は木造の公共施設の火事が多かったため、鉄筋コンクリ施設への転換が進められた、主目的は防火対策）■そういう施設の耐用年数を経費の掛からない改修で一挙に 90 年にもっていくことが果たして可能でしょうか？また本当に経費が掛からないのでしょうか■そのような検証もなく、文字面だけで公共施設の「長寿命化」と書いて、問題を先送りしていいのでしょうか？

借金財政を転換するにはこれしかない
行革を徹底

新年度（下記ココ ↓ の年度）では築 60 年はゼロですが、それは、前区政時代に始めた、公共施設の統廃合と複合化が、なんとか実現したからです。（公共施設の統廃合は地域の反対意見必出の難航作業）しかしこの 4 年間で新たな、公共施設の対策は何も打ち出されていません。結果、「築 60 年施設」は 4 年後には合計 28、一方、補修工事でなんとかもたせる「築 30 年以上の施設」は 4 年後は 64 施設になります。



この市役所も直前まで頑丈に見えたハズです

築60年を築90年に？それはいくらなんでも危険？

誰も気づかない文書に書かれた一文が根拠に

中長期保全改修の実施により、既設施設の適切な保全による改築時期の延伸（築 65 年）を図りながら、建物状況等を踏まえた必要かつ合理的な整備（改築、長寿命化（築 90 年）、リノベーション等）を進めます。

（平成 30 年 4 月世田谷区新実施計画・後期）

H29 年の「公共施設等総合管理計画」では「概ね築 60 年程度で建替えを検討することが必要」とあり、それでは財政的にもたないといったが H30 年になるとルール変更で 30 年伸ばして問題先送り！

↑こんなことをしていたら危険な公共施設が増大するばかりです。

世田谷行革110番 おおば正明の略歴



①昭和 62 年、元都議 後藤雄一さんと作った市民グループ「世田谷行革 110 番」から組織なし、カネなし、政党なし選挙で最下位当選（次点とわずか 14 票差）以後、1 票の重みを胸に、議会で不正追及、ダメ公務員追放の先頭に立つ②議員定数削減、交通費の実費化、政務調査費領収書のネット全公開等の議会改革を主導③連続 8 期 区民の皆さまの信任を受ける④今年 3 月議会で、保坂区長の「財政健全化」の虚構を指摘。財政不見識ぶりを明らかに⑤「福祉の財源は行革から」が政治信条⑥団体の支援一切なし、個人支援のみ、政党歴なし⑦高齢者人口増大のなかで老後不安の解消が景気回復への近道と主張。

■成蹊大経済卒【家族】妻・娘【生年】1956 年、62 歳、粕谷在住。

福祉を守り、安全な公共施設を作るには 選択と複合化

現実的

しかし地域の利害が絡み、合意形成が難

■公共施設は災害弱者の「最後の逃げ場」でもあります。逃げた先で被害に遭った事例は先の東日本大震災でありました■この問題の起点は「公共施設を選択と複合化」にあります。実際には地域の利害に直結する問題で、反対運動も必然であり、容易に進む話ではありません■しかし、どこかの市長も言っていたように、「しんどいこと」をするのが行政（公務員）の仕事ではないでしょうか。それを率先するのが区長の務めであり、議会も同列です■建物は地震が来て、初めて危険かどうかわかるものです。「しんどいこと」かもしれませんが、その天秤の先には福祉の維持が掛かっています■長生きして不安が増大する国などあってはならないと思います■今「しんどいこと」に取り掛からないと次の区長の任期終了時には財政的には身動きがとれない、状況になります。

あとがき

●本号は前号の「保坂区長の退職金受け取り騒動」の後編にあたります。もちろん前号の記憶がなくても、保坂区長の「財政不見識」（今だけよければ安心だ）ぶりをお伝えできたらと思います。止めるのは議会しかありません●財政破綻は地震と同じで、起きる日まで、わかりません。現にあのギリシャでさえ前日まで経済は普通に回っていたそうです●起きるまでわからない、ではなく、その前に、打てる手は打つ、というのが医療・介護・子育て対策、そして災害対策ではないでしょうか。

（世田谷区議会議員 おおば正明）